

【日本銀行決済機構局 第4回FinTechフォーラム】

みずほFinTechにおけるデータ利活用の取り組み

MIZUHO FinTech

2017年11月1日

株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社みずほ銀行



TOKYO 2020

MIZUHO



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020ゴールド銀行パートナー

〈みずほ〉の
目指す姿

“総合金融コンサルティンググループ” ～お客さまと社会の持続的成長を支える課題解決のベストパートナー～

お客さま第一の徹底
(Client-Oriented)

オペレーショナルエクセレンスの追求
(卓越した業務遂行力)

5つの
基本方針

カンパニー制の導入

事業の選択と集中

強靱な財務体質の
確立

金融イノベーションへの
積極的取組み

強いくみずほを支える人材の
活躍促進とカルチャーの確立

10の
戦略軸

事業戦略

- 1 グローバルベースでの非金利ビジネスモデルの強化
- 2 貯蓄から投資への対応
- 3 リサーチ&コンサルティング機能の強化
- 4 FinTechへの対応
- 5 エリアOne MIZUHO戦略

財務戦略

- 6 バランスシートコントロール戦略とコスト構造改革
- 7 政策保有株式の削減

経営基盤

- 8 次期システムの完遂
- 9 人事運営の抜本的改革
- 10 強い組織を支えるカルチャーに向けた継続的取組み

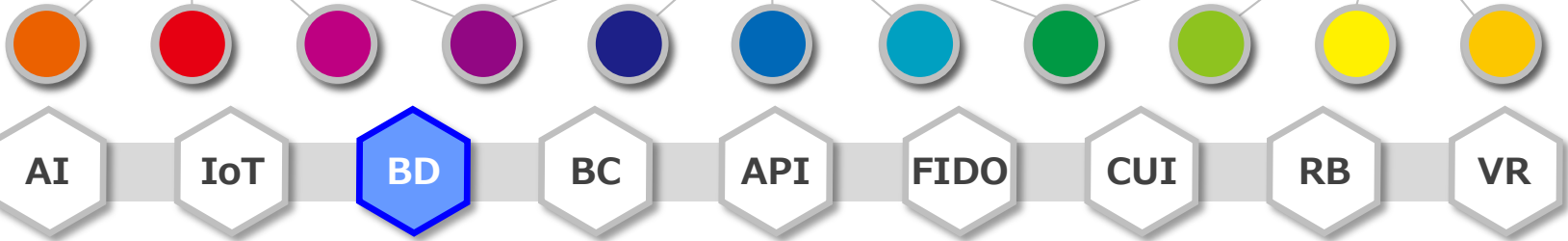
2 オープンイノベーションの取り組み



みずほベンチャーキャピタル

みずほFinTechファンド

イノベーション企業支援部



社会的課題
解決への貢献
Society5.0

企業育成

<クロスインダストリ x 47都道府県>
新規ビジネス創出

新規顧客
開拓

既存業務
拡充

3 オープンイノベーションの取り組み

FinTech事業領域

みずほの取り組み事例

期待される効果

資産管理/運用助言

金融情報

資産管理



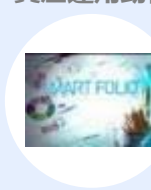
資産管理



資産管理



資産運用助言



UI・UX



新規ビジネス
創出

レンディング

送金/決済

レンディング



決済



シンジケートローン



国際送金



国際証券決済



収益の拡大

その他定型業務等

残高照会



店頭対応



コールセンタ



暗号化・共有



起業支援



業務の高度化

コスト削減

凡例： ○ 実証実験 API連携

ビッグデータとAIを活用した日本初のFinTechサービス「AIスコア・レンディング」を提供開始

概要



MIZUHO × SoftBank

資本金 50億円（みずほ・ソフトバンク 50/50）

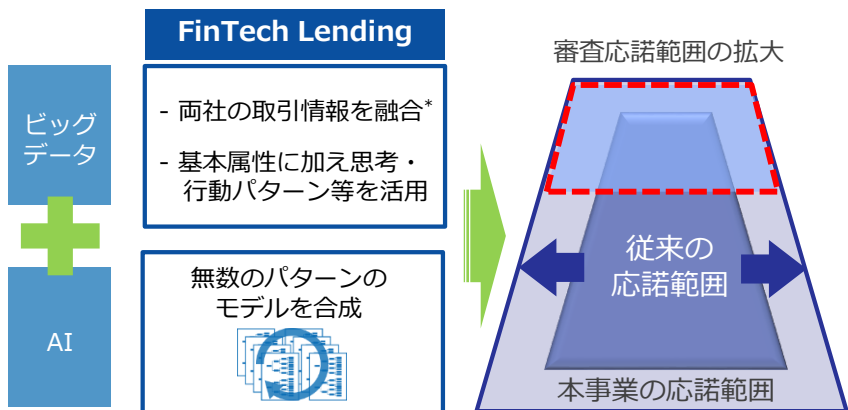
設立 2016年11月1日

事業開始 2017年9月25日

特徴

- 1 全く新しいFinTechブランドによる、日本初のサービス
- 2 最新のテクノロジーを活用したビッグデータ、AIによる明快なスコア化
- 3 優れた商品サービス（競争力のある金利水準、スピーディーなお手続き等）
- 4 快適な操作性にこだわったUI/UX※、すべてがネットで完結 ※UI=ユーザーインターフェイス、UX=ユーザーエクスペリエンス
- 5 店舗を持たないローコストなオペレーション

ビジネスモデル



* お客さまの許諾に基づくデータ利用

事業（AIスコア・レンディング）概要



3つの簡単なステップですぐに利用可能な個人向け消費性融資サービスを展開

STEP 1

AIスコア



- 1 18のチャット質問
- 2 1,000点満点
- 3 わずか2~3分
(入力からスコア提示まで)
- 4 いつでもスマホで確認
- 5 学生や若い社会人の
未来の可能性も加味
(お客さま入力情報を元に、
各種ビッグデータと組み合わせて
弊社独自のモデリングで推定)

STEP 2

スコアアップ



追加情報入力

- 1 自ら情報入力し、
スコアアップ可能
- 2 項目数は100以上
(入力は任意)

情報連携

- 3 みずほ・ソフトバンク
の取引情報提供により
スコアアップが可能

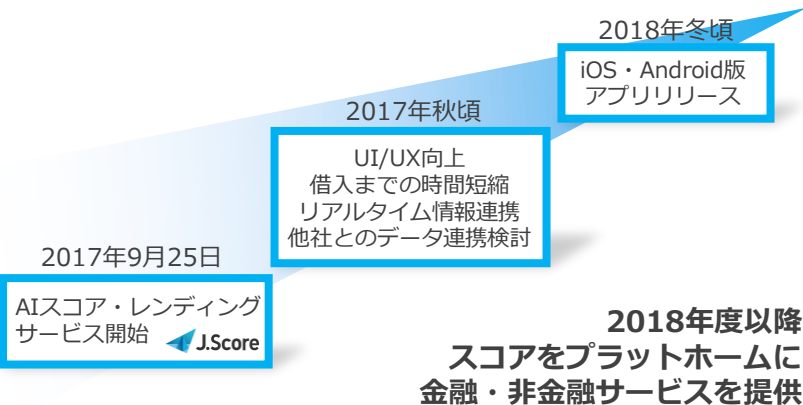
STEP 3

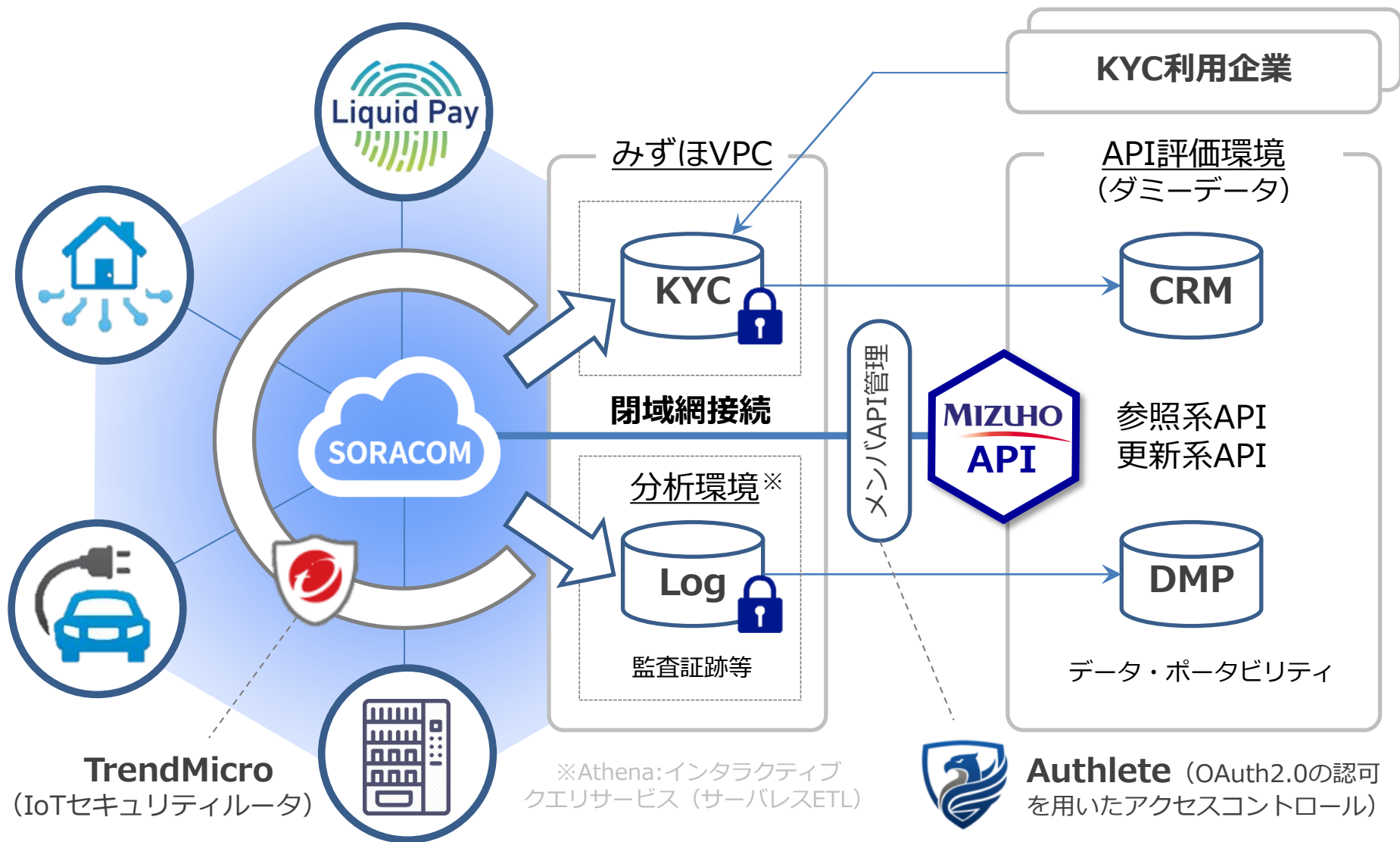
レンディング



- 1 スコアに応じた
レンディング条件を
すぐに提示
(600点以上で融資)
- 2 いつでも条件確認可能
- 3 すぐにレンディング
申込可能

今後の展開 (予定)





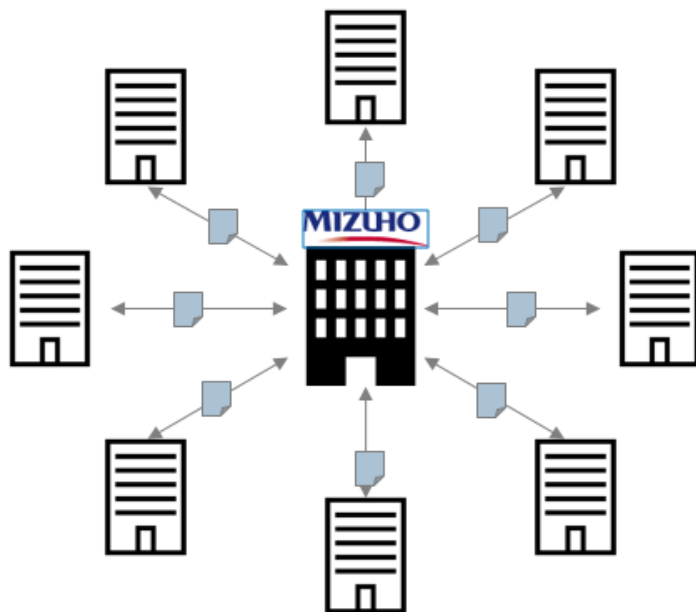
FinTech時代における合理的な料金化ルールや収益モデルの産学協同研究



銀行の信用力や「安心・安全」な社会認識を武器にデータ流通ハブとなり、そこを通過するデータにもとづいて融資やコンサルティングを高度化させていく。

データ流通ハブとしての銀行

- ✓ ITベンチャー等にはない安心・安全なデータ管理に関する信用力を活かし、市場データから個人情報・機密情報などのセンシティブデータまで、「なんでも預かる銀行」を実現。
- ✓ データ加工・流通の役割を担うとともに、通過していくあらゆる情報をもとに銀行の業務の効率化・高度化も図る。



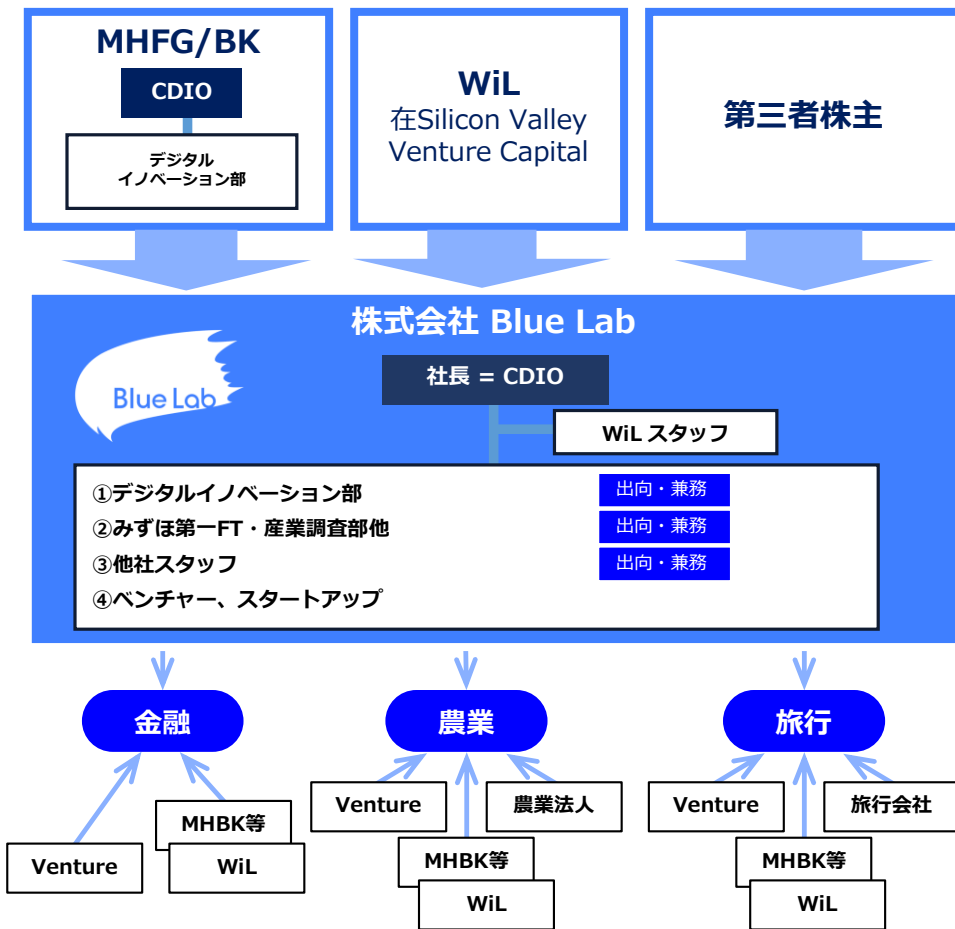
多様なデータに基づく企業育成

- ✓ 銀行を通過していく情報をもとに、顧客企業に対して提供できるデータを抽出したり、そのデータの解釈を行うことでコンサルティングまで実現。
- ✓ 融資の柔軟化も含め、これまでリーチできなかったステータスの企業に対しても多くの手段による支援が可能となる。



事業立ち上げ段階のマーケティング支援や、高精度化した与信に基づく事業初期段階での資金面での支援を柔軟に実施

オープンAPIの活用により「クロスインダストリ分野 x 47都道府県」でのビジネス創出を加速



Blue Lab の 役割期待

金融関連に限定せず、あらゆる産業・業種に視野を広げ、新たなテクノロジーを活用し、**次世代のビジネスモデルを創造**。目指すべき姿は、“**本邦最強のインキュベーター企業**”

<基本コンセプト>

1. オープンイノベーション

内外異業種、他行との“協業”・“協働”は柔軟に対応
ビジネスモデル開発フェーズ、事業化フェーズ 共

2. プラットフォーム

全ての参加者の利益に供する座組みを構築
必ずしも、みずほ単体に対する裨益に拘泥しない

3. ビジネス化オリエンティッド

マネタイズすることに今まで以上に注力

4. グローバルフォーマット

拠点は、東京とシリコンバレー

5. ガバナンス・マネジメント

シリコンバレー ベンチャー企業 の ビジネススタイルを踏襲


 MIZUHO

 みずほフィナンシャルグループ
 みずほ銀行

デジタルイノベーション部にて
 デジタル戦略とオープンイノベー
 ション、銀行APIの統括を担う。

2017年2月にMizuho.ioを
 FINOLABに設立し、責任者。


 Blue Lab

 株式会社 Blue Lab

米国WiLとみずほ銀行の合併会社
 2017年7月設立。本邦最高の
 インキュベーション組織を目指す。

CTO（最高技術責任者）に就任。


 FINOVATORS
 for Finance Innovation ecosystem

 金融革新同友会FINOVATORS

2016年1月結成。FinTechエコ
 システムの形成を目指すプロボノ
 集団。共同創業者 兼 CTO。

スタートアップのメンター、
 パブリックセクターへの提言、
 海外業界団体との連携を担う。


 FINTECH
 ASSOCIATION

 一般社団法人Fintech協会

2015年9月設立。Fintech市場の
 活性化および世界の金融業界に
 おける日本のプレゼンス向上を
 目指す業界団体。

2016年12月 アドバイザリ
 ボードメンバー就任。主に
 APIセキュリティ分科会担当。

© 2017 株式会社みずほフィナンシャルグループ

本資料は金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。また、本資料はみずほフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。

本資料は、当社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴社ご自身の判断にてなされますよう、また必要な場合は、弁護士、会計士、税理士等に御相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。

本資料の著作権は当社に属し、本資料の一部または全部を、①複製、写真複製、あるいはその他の如何なる手段において複製すること、②当社の書面による許可なくして再配布することを禁じます。